



TITLE:

# 基研研究会プログラム「秩序化における乱れと非線型」

AUTHOR(S):

---

CITATION:

基研研究会プログラム「秩序化における乱れと非線型」. 物性研究  
1995, 63(4): 505-506

ISSUE DATE:

1995-01-20

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/95430>

RIGHT:

基研研究会プログラム  
「秩序化における乱れと非線型」

6月6日(月) 13.30 開会、連絡事項など

A. セラミックスの秩序化 (13.40-15.20) 司会：川崎辰夫

1. 川村 光 (京都工繊大) (40+10)

カイラルガラス

ー スピングラスと超伝導セラミックスー

2. 松浦基浩 (京都工繊大) (40+10)

非線型磁気応答に観る「セラミックス」の秩序化

ー 休憩 (15.20-15.40) ー

B. 乱れのある系のスピングラス様ふるまい (15.40-17.30) 司会：都 福仁

1. 伊藤厚子 (お茶の水大理) (40+10)

希釈反強磁性体のスピングラス様ふるまい

ー パーコレーションとスピングラスー

2. 萩原 亮 (京都工繊大) (20+5)

黒鉛層間化合物のスピン秩序化と非線型応答

3. 尾関之康 (東工大理) (20+5)

フラストレーションのないゲージ模型の相転移

6月7日(火)

C. 相転移における量子効果 (9.30-11.30) 司会：高山 一

1. 鈴木増雄 (東大理) (40+10)

量子有効場理論と秩序化への応用

2. 都 福仁 (阪大理) (30+5)

磁性体の準巨視的量子現象

3. 羽田野直道 (東大理) (20+5)

乱れたボゾン系の超流動ー絶縁体相転移

ー 昼食 (11.30-13.00) ー

D. 量子核形成 (13.00-14.50) 司会：鈴木増雄

1. 佐藤武郎 (東北大理) (40+10)

量子核形成

2. 小貫 明 (京大理) (20+5)

高周波場における量子核生成

3. 宮下精二 (京大人環) (20+5)

量子スピン系における準安定状態の緩和

－休憩(14.50-15.10)－

E. 乱れたスピン系の秩序化とスローダイナミクス(15.10-17.30) 司会：

1. 高山 一 (筑波大物理) (40+10) 宮下精二  
スピングラスにおける緩和現象
2. 山田 勲 (千葉大理) (20+5)  
2次元混晶強磁性系 $K_2Cu_xM_{1-x}F_4$  ( $M=Co, Mn$ ) の緩和と非線型現象
3. 香取浩子 (東大物性研) (20+5)  
リエントラントスピングラス $Fe_{0.65}Mn_{0.35}TiO_3$ のメタ磁性転移
4. 高橋美和子 (高エネルギー研) (20+5)  
透過中性子偏極度解析法による磁化のスローダイナミクスの観測

懇親会(17.30-19.30)

6月8日(水)

F. パーコレーションとフラクタル(9.30-11.40) 司会：小貫 明

1. 池田宏信 (高エネルギー研) (40+10)  
パーコレーション磁性体のスピン相関
2. 小田垣孝 (九大理) (20+5)  
ソフトパーコレーションにおけるユニバーサリティーの破れ
3. 宮島佐介 (中部大工) (20+5)  
二つの乱れた表面の衝突により生じた界面のフラクタル性について
4. 上野陽太郎 (東工大理) (20+5)  
新しい型の浸透相と相転移  
－モンテカルロ計算と新しい記述による証明－

－昼食(11.40-13.00)－

G. 秩序化における乱れと量子効果(13.00-14.50) 司会：寿栄松宏仁

1. 網代芳民 (福井大工) (20+5)  
1次元量子スピン系における不純物効果
2. 村上洋一 (東大理) (20+5)  
酸素単分子層の磁気相転移
3. 加藤徹也 (東工大理) (20+5)  
非直線型磁気構造にたいする格子歪みの効果
4. 小野たつ郎 (東工大理) (20+5)  
新しいユニバーサリティークラスのSind-Pile 模型

連絡事項など、閉会15.00